

スマイル



ヒポクラテスの木 (7ページ参照)

特集

半身型ナローバンドUVBを用いた 治療を行っています

CEのつづやき③ / エキスパートナース③ / 連携医療機関紹介 vol.8 /
Information / 副院長のひとり言③

半身型ナローバンドUVBを用いた治療を行っています

2012年10月より当院皮膚科は常勤医2名体制となりました。それに伴い、外来日の増加や外来手術、入院加療が可能になりました。また半身型ナローバンドUVBを用いた治療を行っており、生物学的製剤使用施設の認定を受けているなど、より高度な治療が可能となりました。

診療内容としては、アトピー性皮膚炎や足白癬など日常的な疾患から、尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、皮膚潰瘍などの難治性疾患まで皮膚疾患全般の診療を行っています。患者さまの状態に応じてより適切な検査と治療を行うよう心がけており、日本皮膚科学会ガイドラインに沿った標準的な治療法を基本としております。

外来手術では、表皮嚢腫、色素性母斑、脂肪腫などの皮膚良性腫瘍の日帰り手術を行っています。

抗生剤点滴の必要な中等症～重

症の蜂窩織炎や切開・外科的デブリードマンの必要な皮下膿瘍、感染を伴った褥瘡、高齢者や合併症のある帯状疱疹、難治性潰瘍、自己免疫性水疱症、重症薬疹などは、必要に応じて入院加療を行っています。

当院皮膚科の特色として、半身型のナローバンドUVBを用いた紫外線療法を尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎、皮膚そう痒症などに行っています。重症の尋常性乾癬に対する生物学的製剤使用施設の認定も

CEの つぶやき ⑧



病院では携帯電話の使用場所が限られています。それは携帯電話が誤作動などで医療機器に影響を与える危険性があるからです。ペースメーカーなど体に植込むものもあり、電車の優先座席付近にも書かれている場合もありますのでご存知の方も多いと思います。

最近では携帯電話や医療機器の性能が高まり、携帯電話が発する電波の影響が小さくなったことから、厚

生労働省は携帯電話の使用ルールを見直し、新しい指針を出す方針となっています。現在、病院内では原則使用禁止で電源を切っておくことがルールとなっています。これは1997年に出された指針によるもので、現状にあわなくなってきました。そのため、医療機関が独自の判断で一部エリアでは携帯電話の利用を認めるようになってきました。新しい指針案では場所ごとにルールが



半身型ナローバンドUVB



顕微鏡検査

受けておりますので、対象となる患者さまがいらっしゃるようであれば、ご紹介のほどよろしく願い申し上げます。

また、今年より難治性・広範囲円形脱毛症に対する局所免疫療法 (SADBE 外用) も開始いたしました。保険外診療ですが、男性型脱毛症 (AGA) に対しプロペシ

アによる治療も行っています。陥入爪に対しては電気焼灼による不良肉芽切除とガター法、テーピング法、クリップ法にて加療しております。(超弾性ワイヤーによる治療は行っておりません) 難治性潰瘍では必要があれば血管内科で血行再建を積極的に行っており、可能な限り保存的加療を目指して

おります。

枚方地域の皮膚科診療に貢献できるよう努めて参りますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



皮膚科
西脇 冬子

決められ、集中治療室 (ICU) や手術室では命に関わる機械が多いため、電源を切っておく必要があります。病室ではメールやインターネットは認められ、個室では通話もできます。待合室や廊下では通話やメール、インターネットを認めています。通話に関しては医療機器への影響というよりもマナーが重要視されています。

携帯電話の影響が小さくなってい

ますが、全く無くなったわけではありませんので、近くに医療機器がある場合は利用を控える必要があります。病院ではペースメーカーなど目に見えないところに医療機器がある可能性も高く、携帯電話を利用できるエリアを明確にすることが望ましいです。当院では待合室やデイルームなど、利用できる場所を設けていますのでご利用ください。

また、携帯電話は着信がなくても

電源が入っているだけで、医療機器に影響を与える危険性があります。あまり使わないからと電源を入れたままにしておくと危険ですので、病院の決められた場所や電車の優先座席付近などでは電源を切っていただくようお願いします。

臨床工学技士 木戸 悠人

エキスパートス

8

病院では、様々な専門職種が連携し、協力し合って医療を提供しています。そうした医療チームの中で一番の大所帯は、間違いなく看護部です。

このコーナーでは、そんな看護師の活動やニュースを主に取り扱っていきます。

4階西病棟は、小児科と総合内科の患者さんを主に受け入れている病棟です。これから訪れる秋から冬にかけての時期には、インフルエンザ、ノロウイルスやロタウイルスといった大人にも多い感染症のほか、平成25年度のデータを見るとRSウイルス感染症の乳幼児・幼児の入院が増えることが見込まれます。

子どもといえども入院中の治療は大人と同じです。食事を摂ることができなければ点滴をしなければなりません。大人でさえも「針を刺されるのは痛いからイヤだ」、「ずっと繋がれているような気分になってイヤだ」といった不満がです。持続点滴や抗生物質の投与が必要であればそれもです。患児が受けるこの不快感を少しでも和らげられないかと取り入れているのが、点滴刺入部を保護する包帯止めにキャラクターを描くことです。

看護とは、一体何でしょうか。

『看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通してその最期まで、その人らしく生を全うできるように援助を行うことを目的としている。』これは、看護師の倫理綱領・前文に記された言葉です。看護の対象となるもの、看護の本質についての問いかけに、過不足なく解答するものです。しかしながら、文章にしてしまうと少々仰々しく堅苦しいもののような印象になってしまう感は否めません。この『看護は』という一文を紐解く、ちょっとした日常の風景を、当院4階西病棟の取り組みの中から連載して紹介しようと思います。

どんなキャラクターが好きなのか教えてくれるのであれば、その希望になるべく添えるようにしていますが、初めての入院という経験に緊張で固まってしまっている患児もいます。好みが変わらない時の目安として、大体5歳ぐらいまでの患児には『それゆけ！アンパンマン』が人気です。小学校入学後の6歳ぐらいからは、少し前では『ポケットモンスター』が人気でしたが、今年に入ってからアニメ放送が始まったことをきっかけに大ブレイクしている『妖怪ウォッチ』が人気のようです。

「疾病に患う患児の治療にあたり、点滴をしているという苦痛の緩和をはかる」、「患児の発達段階に合わせて変化する好み、ニーズに合わせる」、固く表現するとこうした『看護』行為を、私たち看護師は自然な行動の1つとして行っています。

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもがRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。^{*1)}そして、初めて感染・発症した場合は症状が重くなりやすいといわれており、乳期、特に乳児期早期にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

^{*1)} 出展：国立感染症研究所 ホームページ：IDWR2013年第36号<注目すべき感染症>RSウイルス感染症



高校生の1日看護師体験事業を行いました。

看護部では今年も大阪府の依頼を受け7月30日に高校生の「1日看護師体験」を実施しました。10名の参加者は白衣に身をつつみ、最初は緊張の様子でしたが、患者さんと接する看護師の姿を見て、「大変な仕事と思っていたけど、看護師のみなさんが楽しそうに仕事をしていた」「自分も看護師になりたい」「一人で大くさんの患者さんを受け持ちてきばきと働く看護師を見てステキだった」などの感想を語っていました。学生のうち8名の方が将来、看護師になりたいと言われており、ナイチンゲールの卵たちに夢を託したいと思っています。

メッセージビデオを見て涙する場面もありました。

私たちも学生たちから元気をもらいました。



病棟で看護体験



心臓マッサージ講習

医療法人正一会 浦医院

☑ 開業のきっかけ

昭和52年より父が枚方市津田にて開業しておりましたが、平成14年に急性心筋梗塞で他界したため、急遽後を継ぐことになりました。

☑ 毎日の診療に心がけていること

生活習慣病など慢性病の方や高齢の方は、体重管理目的や足腰が弱らないために、できるだけ毎日運動するようにお話しています。診療のほとんどは運動の話ばかりです。急性病の方や検査を受けた方は、現在自分の体にいったい何が起きているのかをできるだけ分かりやすく説明できるよう心がけています。

☑ 趣味

趣味は釣りとゴルフです。釣りは舞鶴に月に1回程度行きます。釣った魚はおいしく家族に食べてもらえるよう月に一度料理教室に通い、魚の上手なおろし方や調理の仕方、盛り付け方など勉強しています。ゴルフは練習バカで、開業してからは午前診と午後診の間に行ける時にほとんど練習しています。

☑ 枚方公済病院について

患者さんから「夜中など先生の所がやっていない時に、もし何かあったらどうしたらいいですか?」というご質問をよく受けるのですが、「まずは枚方公済病院に相談しに行ってください。」と言っています。当院から最も近い病院で、夜間などに救急を受けてもらえるのは開業医にとっても患者さんにとっても最も心強く安心なことです。また胃カメラ、大腸カメラ、頭部CT、MRIなどの検査も比較的スムーズに予約していただけるので助かっています。



浦医院 院長 浦 正道先生

所在地：〒573-0121
大阪府枚方市津田北町2丁目26-1
☎072-859-1332
診療科目：内科、循環器科

連携医療機関紹介



このコーナーでは連携医の先生方をご紹介していきます。

竹内クリニック

☑ 開業のきっかけ

田中第一病院が閉院され、その院外薬局の知人に開業を誘われて。

☑ 毎日の診療に心がけていること

正確な診断と治療。
なるべくわかりやすい説明を心がけていますが、なかなかむずかしいですね。

☑ 趣味

テレビゲーム、京都をブラブラ歩くこと。

☑ 枚方公済病院について

いつも急に無理なお願いばかりしており恐縮しております。
大変ありがたく感謝感謝です。
当院の患者さんのことで貴院の先生方に相談に行くこともあるのですが、快くアドバイスいただけ本当に心強いです。



院長 竹内正幸先生

竹内クリニック 院長 竹内 正幸先生

所在地：〒573-0137
大阪府枚方市春日北町4丁目26-30
☎072-858-7221
診療科目：内科、リハビリテーション科

● 第3回院内静脈ポート穿刺認定式が行われました。

当院では安全に業務が行えるように、静脈ポート穿刺プロジェクトを開始し3年目を迎えます。今年も研修受講、実技・知識試験に合格した31名の看護師が晴れて認定証とバッジを病院長から授与されました。今日からは自信をもって穿刺業務や患者さんへの指導ができるようになると思います。

さらに、今年は新たに「がん化学療法」の院内認定養成カリキュラムの作成を行う予定です。



● 自動精算機が新しくなりました。

9月16日から現在の自動支払機を新しい機種へ更新し、台数も2台から3台増設しました。また請求書のバーコード読み取りのみでしたが、診察券の利用も可能になりました。

これにより、自動支払機の順番待ちによる混雑が解消され、現在よりもスムーズにお支払いいただけます。



● 退院支援交流会

9月17日(水)、枚方包括支援センター第11,12圏域のケアマネージャーと当院の退院支援チームの看護師たちとの交流会をしました。

はじめに慢性心不全看護認定看護師の原谷主任より入退院を繰り返すことの多い疾患である心不全患者さんの在宅での注意事項を説明しました。続いて当院での退院調整の流れを4東病棟の北本看護師が説明しました。最後に40名余りの参加者を5グループに分け、「入退院の連携」について日頃から疑問に思っていることや訊きたいことを話し合いました。地域で介護に関わる人たちと顔の見える連携がとれることで、患者さんの自宅での退院調整もよりスムーズに行われることも多くあるため有意義でした。

来年2月ごろには地域包括支援センターの方々との勉強会も予定しています。さらに交流を深め、患者さんにとってより良いサービスを提供していきたいです。





枚方公済病院 副院長
石井 賢二

職員の昼食事情（前編）

当院にはレストランがありません。職員用食堂も数年前に閉鎖されて以来、いつ再開されるのかわからない状態です。職員は手弁当か、外食か、院内の売店で購入するか、もしくは配達の手弁当を頼むことになります。配達の業者は私の知る限りで4社が定期的に入っていて、時に特別な注文を2～3社にすることがあります。昨年院内のカフェ・コーナーが開店しました。当初は外来ホール全体に焼き立てパンの香りが充満し、少々やりすぎの感がありましたが、

対策を講じた結果、今ではほとんど匂わなくなり、ややもの足りない気がします。パンは実においしいのですが、夕方の売れ残りがどうなっているのかが気になります。私の母がケーキ屋でパートの仕事をしていた時は、売れ残りのケーキを持ち帰っていたのを思い出しますが、食品衛生にやかましい昨今ではそのようなことはおこり得ないでしょう。

今年になり、院内のデイリーヤマザキのコンビニエンスストアが開店しました。
(続く)

今月の表紙

ヒポクラテスの木

当院の玄関の右側に若木があります。まだ小さくて目に留まらないかもしれませんが、これはプラタナスです。この木が成長すると実がたくさん集まって4～5cmの球状（集合果）となり、その球の3～5個が1つ軸に垂れ下がる様子が木に鈴を吊るした様に見えるため「鈴掛の木」とも呼ばれます。街路樹に多く見られ馴染みの木ですが、医療機関にあるプラタナスの木は「ヒポクラテスの木」とも呼ばれる特別な木であることがあります。

古代ギリシャの医学者で医学の父と呼ばれるヒポクラテス（前460～

375）が、弟子たちにその木の下で医学を教えたという伝説があります。現在もその地コス島にはプラタナスの老木があり、島の人々は *Platanus hippocrati* と呼んでいるそうです。

その木は「ヒポクラテスの木」と呼ばれ、現在日本には100本余りあるようです。それらは8つの系統株に分類され、すべて同じDNAを持っているそうです。当院のものは蒲原株系統です。1969年新潟の整形外科医蒲原宏先生（前日本医学史学会理事長）がコス島で球状果を採取され、日本に持ち帰り播種し発芽させました。それ

を緒方富雄博士宅に、またそれを虎の門病院第2代院長沖中重雄先生に贈られました。それをさらに株分け（蒲原株第4号の14）し、平成22年当院に植樹されました。



理念と基本方針

理念

地域の皆さんと国家公務員およびその家族に安心していただける医療を提供します。
患者さんの立場を尊重した合理的な医療を行ないます。
病院は安全で働きがいのある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励みます。

基本方針

枚方における中核病院として快適な療養環境と高度な医療を提供しつづけます。

編集後記

先日、通勤途中に山を見上げたら赤くなったり黄色くなったりする木々がありました。今月に入って朝な夕なに涼しくなり、空も高く雲も薄くなってきました。すっかり秋を感じられるようになりました。

紅葉の赤はアントシアニン、黄色はカルチノイド、褐色はタンニンなどが関係しているそうです。日常的に耳にする言葉であり、植物の天然色素です。タンニンは茶葉や柿などの渋みとして馴染みです。

気温が下がってきて過ごしやすくなると、身体が動かしやすくなるのと同時に食欲も増してきます。日頃から食事の内容や量に気をつけることは大切で予防には必須です。当院でも糖尿病教室を催していますが、そのような内容が中心になります。前回の糖尿病教室は少し趣向を変えて、バルーンアートを中心とした夏祭り風に行いました。

いつも同じでは飽きてしまうという先生の配慮です。何事も飽きずに長く続けることが大切です。それが習慣になればもっといいです、と先生は言います。患者さんへの指導内容を聞きながら参加する私たちも勉強しています、糖尿病などの生活習慣病を予防し楽しい秋を満喫しましょうと。

企画課 徳田 裕美子



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<http://kkh-hirakoh.org/>